

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 20 年 3 月 12 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

 	【施設名称】
	【事業主体】 宇和島市
	【所在地】 愛媛県宇和島市曙町1番地 問合わせ先 宇和島市 環境部 生活環境課 環境対策係 TEL :0895-24-1111 FAX :0895-24-1140 E-mail :kankyou@city.uwajima.lg.jp
	【運転開始年】 平成 17 年 2 月
原材料	廃食用油
生産物(種類)	D・OIL バイオディーゼル(BDF)燃料
利用方法	クリーンエネルギーの代替軽油を精製し公用車等に活用する。(植物油には、グリセリンが1割ほど含まれていて、粘り気がある。それを取り除くために、精製する。)
導入目的・経緯	宇和島市は水産業が盛んで、海面清掃や廃食用油を活用して石鹼を作る取り組みなどを行っているが、一方で廃食用油の回収を行っておらず、ほとんどの油は海に流れ、汚染要因の一つとなっていた。このため、家庭などから排出される廃食用油を収集し、代替軽油を精製し、公用車等に活用することにより、住民のリサイクル意識啓発を推進し、環境と調和の取れた循環型社会の構築を図る目的でバイオディーゼル燃料の製造を計画した。
設備仕様	バイオディーゼル燃料製造装置
稼働状況	年間約 120 日程度(@月 10 日×12 月=120 日)、7h/日(9:00~16:00)
経済性関連データ	初期投資額：約 8,808 千円(国庫補助：1/2、市負担 1/2)
導入効果	環境のメリット：二酸化炭素排出量ゼロ。(地球温暖化防止に役立つ。) 経費のメリット：軽油の代わりに一部の公用車に使用。 観光のメリット：環境先進地としてのPR効果。 教育的なメリット：子供たちへの環境教育効果。
運営上の課題	採算には合わない。(コストがかかり、国、県等の何らかの支援策が無ければ採算に合わない。) バイオ燃料は長期保存ができない。(品質劣化しやすい。) 車種が限定される。(相性があり、新しい車種については使用不可である。) 危険物貯蔵の指定数量問題があり、大量に精製、保管できない。
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像： http://www.enecho.meti.go.jp/energy/newenergy/shikoku.pdf http://www.pref.ehime.jp/guide/sawayaka/113/02/02.htm